

きますが、今回事なことは少し少ない。デーンが、皇帝クラ世による結婚禁止に愛する者たち

ため、処刑され殉教の日を記念

2人に贈り物をす

声がれたそうです。はそれンタイン・デ

忘れ

のこ、

由

聖バ

ウデ

止令

を結

たの

して

る習

欧話

## 消費税 チョコレートから考える

三木義一 / 青山学院大学教授

男性にチョコを贈るといふ独自のものになっています。これがチョコレートメーカーの販売戦略であつたことはよく知られていますよ。メリー・チョコレートさんのHPには、昭和33年に試みた当時の苦労話に掲載されています。

同じチョコレートメーカーのHPをみていくと、ゴディバさんのHPに「レディ・ゴディバ」のエピソードが紹介されています。

まともな姿で馬に乗り、町中を廻れたなら、その時は税を引き下げて（修道院の）建設計画を取り止めよう」と言われ、翌朝、彼女は一糸まとわれぬ姿で町を廻り、領民たちは窓を閉ざし敬意を表した、という有名な話です。その結果、ついに税は引き下げられたので、欧州では重税反対闘争のシンボルでもあるようです。ですから、私は税理士さんにはこのチョコを勧めています。

張です。食料品は誰でも買わなければならぬので、一律に消費税をかけると確かに低所得者の負担が重くなります。それを避けるためには、食料品は別にした方が確かにいいかもしれません。しかし、「食料品」の範囲をどう決めたいでしょうか？

パンは食料品でしょうね。チョコレートは？「それはお菓子だから食料品ではない」とすると、チョコをまぶした

税の側面からこのチョコレート眺めると、今後の消費税のあり方を考える材料にもなるのです。

日本の財政状況を考えると消費税の増税は避けられないわけですが、税率が上がると必ず問題にされるのが「食料品を非課税にしろ」という主

と、確定申告の

1は男女カップルの双方向で、しかもチョコに限定されていますが、日本では女性から

夫である伯爵が領民に重税をかけ始めたので、それを諫めたら、反対に「お前が一糸

食パンはどうなるんでしょう。

## 食料品非課税は難しい

チョココレートの消費量が多い欧州では、この分類に頭を痛めています。イギリスの実情を財務省の加藤隆宏さんが次のように紹介しています（税制メールマガジン第49号08年3月10日）。

「チョココレートは、標準税率が適用される菓子類（Confectionery）」に含まれ、税率17・5%の付加価値税が課されます。ところが、ビスケット及びケーキなどは、Flour or baker's confectioneryとしてゼロ税率が適用されます。

なぜ、同じ菓子類であると考えられるチョココレートとビスケット及びケーキとの間で、

適用される税率が異なるのでしょうか。一説によると、こうした適用税率の違いの背景には、小麦粉を使用し調理の過程で「焼く」という点で共通するパン類（Bakery products）（ゼロ税率が適用される）と同じ取扱いをすべきであるという考え方があるようです。

日本では菓子類として同じカテゴリーに入りそうなチョココレート、ビスケット、ケーキについて上記のような取扱いがなされているだけでも興味深いことですが、さらに興味深いのは、これらの食品を組み合わせた食品に適用される税率です。どちらもゼロ税率が適用されるビスケットとケーキをチョココレートでコーティングした場合、チョココレートでコーティングしたケー

ートでコーティングしたケーキにはゼロ税率、チョココレートでコーティングしたビスケットには税率17・5%が適用され、それぞれに適用される税率が異なってくるのです。

同じくチョココレートでコーティングしただけであるのに、ビスケットには17・5%の税率が適用され、ケーキにはゼロ税率が適用されるのは、どうしてでしょうか。ビスケットとケーキとの違いが明確でないこともあり、チョココレートでコーティングした場合の違いを説明するのはなかなか難しいところがあります。このような場合は、個別の事案ごとに考えていくしかありません（実際にイギリスでは、チョココレートでコーティングされたビスケットなのか、チョコ

レートでコーティングされたケーキなのか、裁判で争われた事例もあります。）

このことは、食料品などを非課税にしようとする、分類方法を巡って様々なトラブルが生じることを意味しています。ですから、私は非課税品目を増やしたり、複数税率にはしない方が合理的だと思います。

そうすると「消費税の逆進性を放置するののか」という反論が返ってきますが、その問題は、民主党が主張している「消費税額控除」（健康で文化的な生活にかかる消費税額分を所得税から控除するか、還付する）制度を通じて解決すべきだと考えています。

最後はちよつとほろ苦いチョコの話になりましたね。